

令和6年 畑作病害虫発生情報 第5号

作物名：大豆（8月上旬）

1. ベと病（発生量：平年並）

津軽地域、県南地域ともに広く発生が認められたものの、発生地点率は概ね平年並だった。

べと病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）
				甚	多	中	少	
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	0	77.8	77.8
		前年	12	0	0	0	66.7	66.7
		平年	15	0	1.3	8.4	57.6	67.4
	県南	本年	6	0	0	0	50.0	50.0
		前年	6	0	0	0	33.3	33.3
		平年	6	0	1.4	9.9	66.4	77.7

注）発生程度：甚 発病葉率76%以上、多 同51～75%、中 同26～50%、少 同25%以下

2. アブラムシ類（発生量：平年並）

県南地域の1地点でジャガイモヒゲナガアブラムシの寄生が認められたのみで例年と同様に発生は少なかった。

アブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生地点率（%）	1複葉当たり寄生虫数（頭）
8月上旬	津軽	本年	12	0	0
		前年	12	0	0
		平年	15	3.9	0.01
	県南	本年	6	16.7	1.94
		前年	6	16.7	0.03
		平年	6	10.7	0.23

注）調査基準：10株を抽出して各株中位1節の複葉に寄生するアブラムシ類を調査し、1複葉当たりの寄生虫数を算出

3. ウコンノメイガ（発生量：平年並）

津軽地域では、発生地点率及び1株当たりの葉巻数ともに平年並であった。

県南地域では、発生地点率がやや高く、1株当たりの葉巻数は平年並であった。

ウコンノメイガ幼虫による葉巻症状の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生地点率（%）	株当たり葉巻数（枚）
8月上旬	津軽	本年	12	66.7	0.15
		前年	12	58.3	0.48
		平年	15	61.5	0.23
	県南	本年	6	83.3	0.23
		前年	5	100	0.60
		平年	6	64.5	0.13

注）調査基準：25株を抽出して各株の葉巻数を見取り調査し、被害株率及び1株当たりの葉巻数を算出

4. その他のチョウ目幼虫（発生量：平年並）

津軽地域、県南地域とともにすべての地点での発生が認められたが発生程度はいずれも「少」であった。
主な加害種はツメクサガ、ウワバ類であった。

チョウ目幼虫による食害状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）
				甚	多	中	少	
8月上旬	津軽	本年	12	0	0	0	100	100
		前年	12	0	0	16.7	83.3	100
		平年	15	0.6	3.3	11.9	83.6	99.4
	県南	本年	6	0	0	0	100	100
		前年	6	0	0	16.7	83.3	100
		平年	6	0	1.4	8.8	88.1	98.3

注) 発生程度：甚 1株の食害面積率51%以上、多 同26～50%、中 同11～25%、少 同10%以下

《当情報に関する問い合わせ先》
青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：主幹 菊池晴志